

仲小路商店街

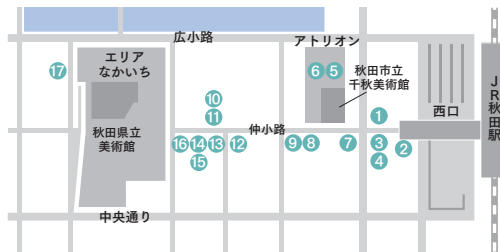
みんなでつなぐ、つから！
雨の日は「めぐり傘」をお使いください。

2018年から始まった仲小路商店街の無料貸し傘「仲小路巡り傘」。“街と人をつなぐ”をテーマに始まったこの取り組みは、急な雨でも、みなさんが仲小路商店街で楽しく過ごすサポートをしてきました。文化創造館や秋田市公営駐車場など新たな施設も加わり、傘の設置場所は全部で15カ所。「めぐり・めぐる・つなぐ」の意味が込められたシンボルマークが目印です。



お得な半券サービス

秋田県立美術館と千秋美術館をつなぐ仲小路商店街。秋田県立美術館で展覧会を鑑賞し、半券(秋田県立美術館のパスポートも可)を対象店舗で提示すると、各種サービスを受けられます。「アートな街」をお得にお楽しみください。



店舗名	サービス内容
1 一乃穂 本店	ご購入のお客様にご試食品進呈
2 プリモカワカミ (フォンテAKITA1階)	フォンテポイント2倍
3 Koo Aromática (サロンアンドスクール クロッセ秋田4階)	全コース5%割引
4 café La Doux (クロッセ秋田2階)	食後のワンドリンクサービス
5 秋田県産品プラザ	5%割引 (一部対象外)
6 札幌かに本家 秋田店	飲食代金5%割引 (現金払いのお客様)
7 ブランジーノ アキタ Branzi-no Akita	お食事の方にデザートサービス
8 そば処 四季	飲食代5%割引
9 レモンの部屋	5%割引 (一部対象外)
10 ティールーム陶	100円引き (平日ランチは除く)
11 食器のさかいた	5%割引 (一部商品除く)
12 CAFÉ みきょう	税込1,000円以上の飲食で5%割引
13 仲小路コーヒー&ワイン (仲小路ビル1階)	1,000円以上の飲食で5%割引
14 親鶏らぁ麺 いし川 (仲小路ビル1階)	ラーメンのみ5%割引
15 VIVANT MAKE UP WORKS (仲小路ビル2階)	メイクレッスン受講の方にスクリュエー プラシプレゼント
16 川口呉服	5%割引 (サービス品除く)
17 ダイニングレストラン ザ・キャッスル (秋田キャッスルホテル 1階)	ご利用金額の10%割引 またはワンドリンクサービス

秋田市立千秋美術館

大規模改修工事のため、2024年6月まで長期休館

〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8(アトリオン)
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862

秋田県立美術館

開館時間 ●午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
竿燈まつり期間中(8月3日㊤～8月6日㊤)は午前9時開館

観覧料 ●展覧会ごとに異なる

休館日 ●7月3日(月)～7月7日(金)、8月8日(火)、
9月11日(月)～9月15日(金)

〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2(エリアなかいち内)
TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877



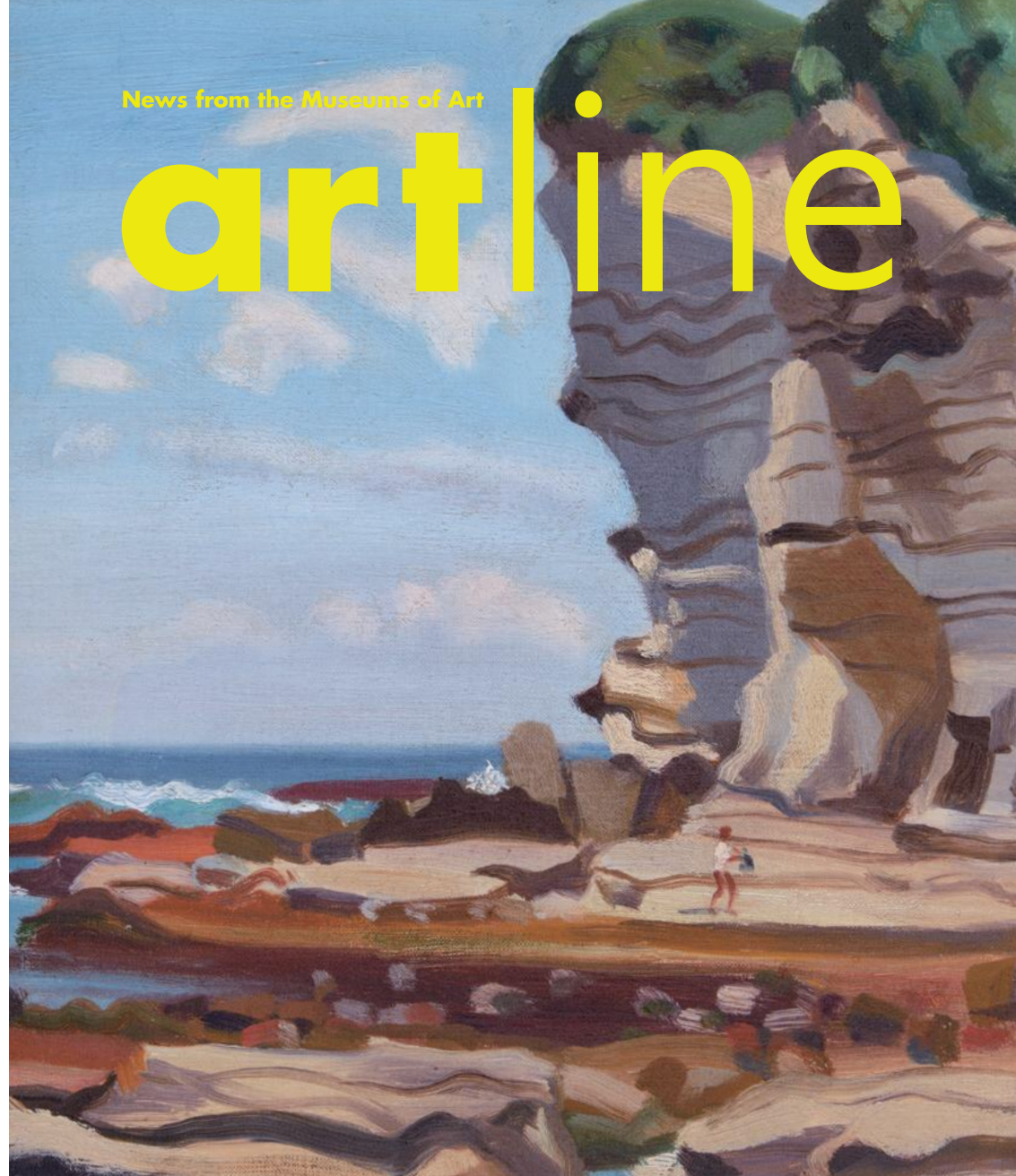
編集 ●秋田市artlineプロジェクト実行委員会

秋田市立千秋美術館
秋田県立美術館指定管理者(公財)平野政吉美術財団
仲小路振興会

発行 ●2023年7月
表紙: 田口省吾《岩礁》1930年代 H27.3×W22.0cm

News from the Museums of Art

artline



特集

秋田県立美術館移転開館10周年記念特別展
浦上コレクション

北斎漫画展 一驚異の眼・驚異の筆一

2023.7

秋田県立美術館移転
開館10周年記念特別展

浦上コレクション
北斎漫画
驚異の眼・驚異の筆

[会 期]

2023年7月8日(土) - 9月10日(日) ※展示替え休館 8月8日(火)

【前期】7月8日(土) - 8月7日(月) 【後期】8月9日(水) - 9月10日(日)

※竿燈まつり期間中(8月3日(金)~8月6日(日))は午前9時開館

[会 場] 秋田県立美術館 3Fギャラリー

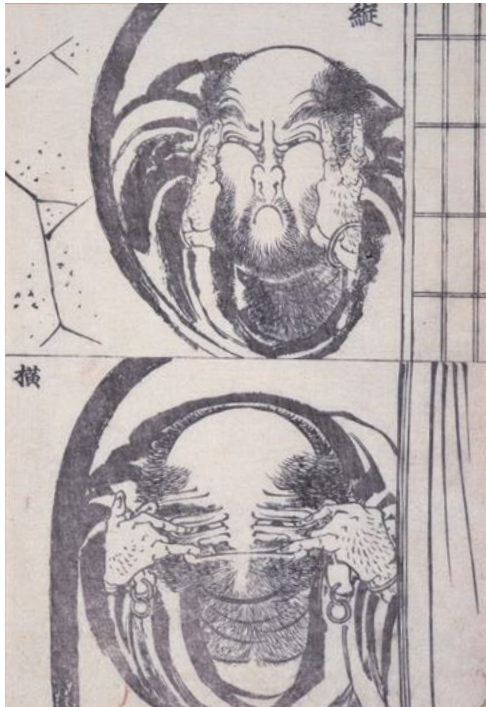
[観 覧 料] 一般1,000(800)円、高・大学生800(600)円 中学生以下無料

※高・大学生料金では要学生証提示

※()内は20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライロID可)持参の方と付添1名まで半額(美術館で当日券購入の場合のみ)

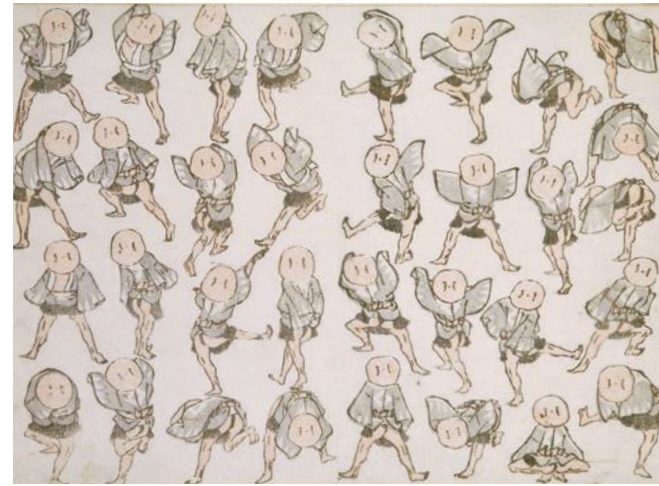
[主 催] 北斎漫画展実行委員会(秋田県、秋田魁新報社、公益財団法人平野政吉美術財団)



《縦・横》十二編【通期】

世界的に有名な江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎(1760-1849)。19歳で絵師となってから90歳で亡くなるまで、数多くの名作を残しました。その中でも「富嶽三十六景」と並び代表作として知られているのが『北斎漫画』です。1814(文化11)年、弟子たちの絵手本として初版が刊行されると、庶民からも好評を得ることとなり、北斎没後の1878(明治11)年まで60年余にわたり全15編が刊行されました。『北斎漫画』には、人々の生活や動植物、自然現象や各地の名勝、さらには神仏、幽霊まで、あらゆるものが生き生きと描き出されています。洒落な筆使いとダイナミックな構図、人々の特徴や一瞬の動きをとらえたユーモアに満ちた描写は、自ら「画狂老人」と称して90歳まで絵を描き続けた北斎の、驚くべき画力、眼力を雄弁に物語っています。

本展では、世界一の質と量を誇ると称される浦上満氏の『北斎漫画』コレクションより、厳選された約200点を前後期に分けてご紹介します。森羅万象を描いたと言われる北斎の魅力が凝縮された作品の数々をぜひお楽しみください。



《雀踊り》三編【通期】



《出羽秋田の露》七編【前期】

関連事業

● 夏休み子どもと楽しむギャラリートーク

日 時:8月19日(土) 14:00~14:30

対 象:小学生以上(小学生の参加は保護者同伴)

会 場:秋田県立美術館 1Fレクチャールーム

講 師:秋田県立美術館学芸員

定 員:25名

※観覧券または年間パスポートをご持参ください。

※お電話またはFAXでの事前申し込みが必要です。

● 学芸員によるギャラリートーク

日 時:7月23日(日)、8月26日(土)

各日ともに14:00~14:30

会 場:秋田県立美術館 3Fギャラリー

講 師:秋田県立美術館学芸員

※観覧券または年間パスポートをご持参ください。

※事前申し込みは必要ございません。

秋田県立美術館移転開館10周年記念特別展

旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一

【会期】
2023年9月16日(土) - 11月12日(日) 会期中無休

【会場】秋田県立美術館 3Fギャラリー

【観覧料】一般1,000円(800円)、高・大学生800円(600円)、中学生以下無料

※高・大学生料金では要学生証提示 ※()内は前売、20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライID可)を持参の方と付添1名まで半額(美術館で当日券購入の場合のみ)

【主催】旅する画家展実行委員会(秋田県、ABS秋田放送、公益財団法人平野政吉美術財団)



© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 E5249

1959年にヨーロッパに留学した斎藤真一は、フランスで憧れていた藤田に出会います。そこで斎藤は、藤田から秋田や東北へ行くことを勧められます。帰国した斎藤は、藤田の言葉どおり東北・津軽地方を旅しました。そこで盲目の女性旅芸人・瞽女の存在を知り、強く惹かれるようになったのです。その後、斎藤は越後を訪ね、旅に明け暮れる越後瞽女の足跡を辿りながら、瞽女たちの純粋な心、生き様を描き続けました。

このたびの展覧会では、藤田と斎藤、その創作の源泉となった「旅」に注目し、それぞれの画業においての「旅」の意味に迫ります。



斎藤真一《ムーランルージュ》 1959年 油彩・カンヴァス
公益財団法人出羽桜美術館

「私は死ぬまで旅行者でおわろう」と自ら語るように、藤田嗣治は生涯にわたり、世界各地を旅した画家です。1930年代、藤田はパリを離れ、中南米、北米、日本各地や中国を旅します。各国の文化や風土に触れ、藤田は新たなモチーフや構図などに次々と挑戦していきました。

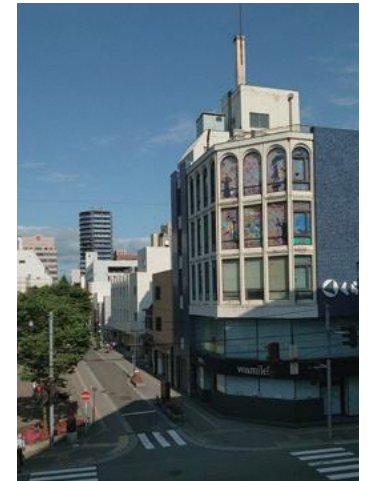
藤田嗣治《眠れる女》
1931年 油彩・カンヴァス
公益財団法人平野政吉美術財団蔵

学芸員リレーコラム

仲小路でアートを探そう(第17回)

秋田県立美術館から見て仲小路の入口に建っているくらのビル。壁の青いモザイクタイルが印象的なビルを見上げると、窓に作品がかかっていることに気付くでしょう。動植物や人の姿など様々なモチーフがカラフルかつ爽やかな色合いで描かれており、仲小路に来た人を出迎えてくれます。この作品は、県の事業を元に、仲小路をアートで盛り上げようという企画によって2014年に開催されたイベントで制作されたもの。県内の美術教師たちのグループ「doek(ずつく)」が主導し、市内の学生を中心に「FLOWER WINDOW」というテーマで描かれました。制作後はくらのビルの窓に飾られ、現在は4、5階の絵を見ることが出来ます。仲小路を舞台としたアート活動の軌跡が今も息づいています。

(秋田県立美術館・小泉)

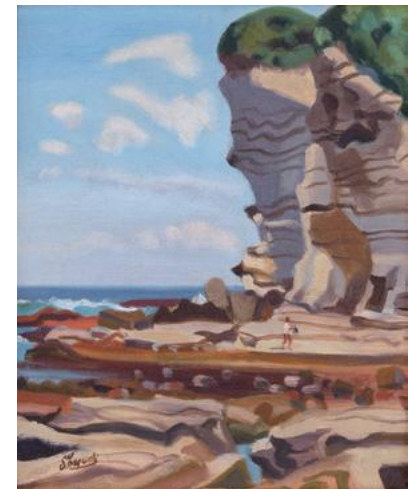


千秋美術館 所蔵作品紹介

田口省吾 (1897 - 1943) 《岩礁》

1930年代
油彩・キャンバス
H27.3×W22.0cm

今回の表紙作品《岩礁》は、真夏の日ざしの中、海や空の青、断崖の地層部分の茶、木々の緑など色彩の魅力がのびのびとした筆遣いで表現されています。画面やや右下には、子供の姿が見え、魚や貝を捕まえたのか手に袋を下げています。作者の田口省吾(1897~1943)は今年没後80年。芥川賞作家・故高井有一(1932~2016)の父といえピンと来る方もいるのではないのでしょうか。また省吾の父・田口掬亭(1875~1943)は角館出身で、雑誌「中央美術」の刊行をはじめ、流派を越えた新人画家の登竜門、中央美術展を創始するなど、大正期の画壇をプロデュースする存在でした。親子3代で芸術に携わる田口家。目の前の作品の背後にはそれを描いた“ひと”が存在することへも思いを寄せてみてください。



(千秋美術館・村田)

千秋美術館 休館中活動紹介 ②

千秋美術館では、休館中も学芸業務は継続しています。今号では、当館所蔵作品の館外貸出業務についてご紹介します。

九州国立博物館

特集展示

「誕生250年記念 秋田蘭画ことはじめ —それは『解体新書』から始まった—」

会期:4月29日(土・祝)～6月11日(日)

前号でご紹介したとおり、九州国立博物館(九博)において当館所蔵の秋田蘭画および関連資料33点が一堂に展示されました。会期中の入館者数は45,949名、大変多くの方にご覧いただきました。会期初日は当館学芸員の講座、会期中の5月16日(火)と30日(火)には九博の研究員の方々による作品解説が行われました。またGW中には秋田県福岡事務所のご協力により、県産品の出張販売や秋田犬とのふれあいイベントも行われました。



展覧会会場写真



4月29日講座写真

府中市美術館

「春の江戸絵画まつり 江戸絵画お絵かき教室」

会期:3月11日(土)～5月7日(日)

5月下旬、府中市美術館へ貸与していた伊藤若冲「雨籠図」を含む当館所蔵作品5点が返却されました。府中市美術館と当館の学芸員が立会い、作品の状態が貸与前と変わらないことを実物と作品調書を見ながら確認し、当館収蔵庫へ収納しました。府中市美さんの恒例企画である「春の江戸絵画まつり」に協力することができ光栄でした。



検品中写真

これからの貸与予定

■ 武蔵野美術大学美術館・図書館

「三浦明範—vanitas vanitatum」

会期:7月15日(土)～8月13日(日)

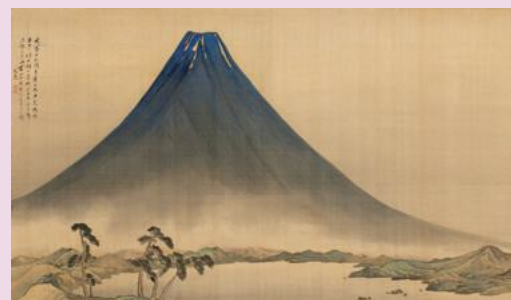


三浦明範「再生-月」1994年

■ 栃木県立美術館

企画展「文晁と北斎 このふたり、ただものにあらず」

会期:10月21日(土)～12月24日(日)



谷文晁「河口湖富士真景図」1795年 ほか6点

※どちらも詳しくは開催館のHPをご確認ください。

改修工事レポート

2022年6月13日から休館に入り1年。この原稿を書いている6月上旬は展示室内の壁面展示ケースの設置作業などが行われています。右の写真は今回の改修で新設された2階から3階への階段です。改修前は3階講堂でのイベント終了後の館内移動が不便でした。再開後は2階展示室へ気軽に寄っていただけるのではないかと思います。下の写真は企画展示室の一部です。可動壁を設置できる場所が増え、より自由な展示空間が実現できる予定です。展示再開は来年7月頃。お楽しみに!

